

春吉橋を核とした空間利活用に関する技術研究会

《第4回》 会議資料

資料-3

橋上公園の活用事例について

平成26年11月27日（木）

於：第5博多偕成ビル10F 第1・第2会議室

国土交通省福岡国道事務所，福岡市，福岡県

資料目次

3. 橋上公園の活用事例について

(1) 勝山橋の位置と交通量 <国土交通省>	1
(2) 勝山橋の空間面積と施設配置 <国土交通省>	2
(3) 事例紹介 小倉イルミネーション2014 <国土交通省>	3
(4) 紫川にぎわいづくり実行委員会ヒアリング結果 <国土交通省>	6



3. 橋上公園の利活用事例について〈国土交通省〉

資料-3

(1) 勝山橋の位置と交通量

■勝山橋の交通量（春吉橋との比較）

交通量	勝山橋		春吉橋	
	平日	休日	平日	休日
自動車類 (台/日)	17,781 (H22)	19,226 (H22)	32,062 (H22)	—
	19,327 (H17)	19,414 (H17)	31,364 (H17)	24,720 (H17)
歩行者類 (人/日)	5,183 (H17)	6,847 (H17)	15,727 (H26)	16,677 (H26)
自転車類 (台/日)	1,115 (H17)	1,012 (H17)	6,970 (H26)	5,331 (H26)

※H17,H22は道路交通センサス
※H26は実測値

■勝山橋の位置



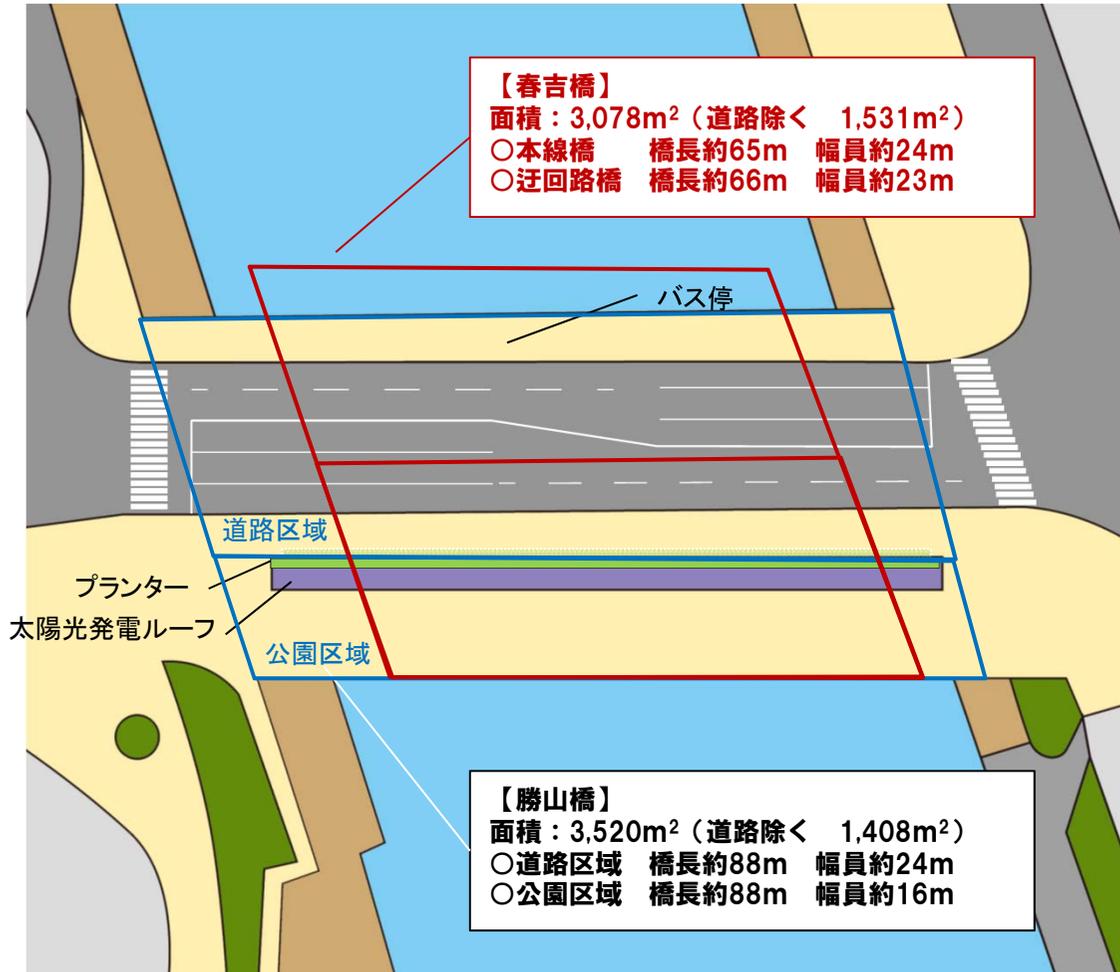
提供) 国土地理院 空中写真

3. 橋上公園の利活用事例について〈国土交通省〉

資料-3

(2) 勝山橋の空間面積と施設配置

■勝山橋の空間面積（春吉橋との比較）



※太陽光発電ルーフについて

北九州が進める「紫川エコリバー構想」に基づき、低炭素社会の「見える化・感じる化」を推進するとともに、ルーフを活用してのマーケットやイベント開催などによる「にぎわいづくり・顔づくり」を進めるため、太陽光発電ルーフを平成22年に設置

■勝山橋の施設配置

プランターを設置し、道路区域と公園区域を区分



公園区域の施設は太陽光発電ルーフのみであり、ベンチ等の休憩施設、情報案内板、バスケットなどはない(バス停は反対側の歩道に設置)



(3)事例紹介 小倉イルミネーション2014

- イルミネーションは、主に鷗外橋上やリバーウォークの遊歩道に設置され、**勝山橋を中心とする紫川全体を活用した賑わいづくりが展開**
- 勝山橋上にはイルミネーションが設置されておらず、**周辺のイルミネーション全体を見渡せるたまり空間**として機能

■勝山橋周辺 イルミネーションの全体像

リバーウォーク周辺

リバーウォークの遊歩道には、散策しながら楽しめるイルミネーションが展開。



勝山橋周辺

橋上の広い空間を活用し、周辺のイルミネーションを見渡せるたまり空間として機能。



紫江'S周辺

紫江'Sのウッドテラスや河川敷には、設置されたテーブルで飲食ができる空間が展開。



鷗外橋周辺

イベントのメインイルミネーションが展開。



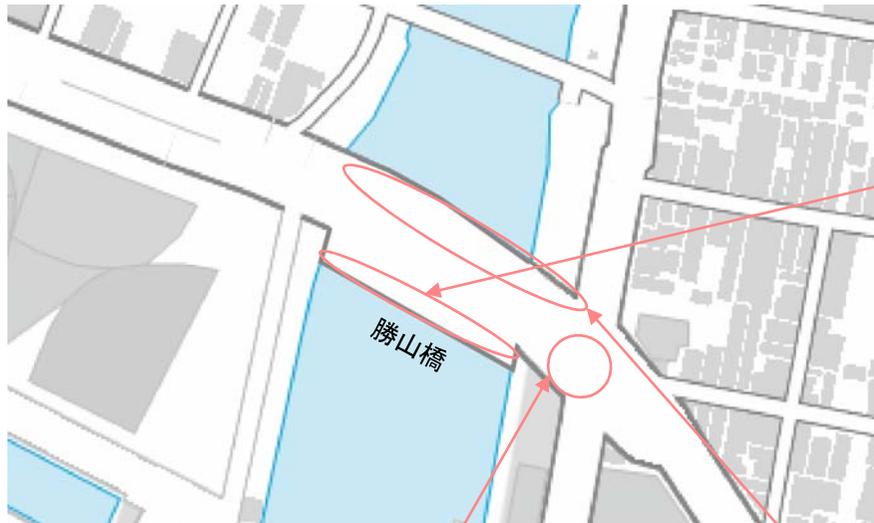
3. 橋上公園の利活用事例について〈国土交通省〉

資料-3

(3)事例紹介 小倉イルミネーション2014

- 鷗外橋やリバーウォークに設置された**イルミネーションを橋上から一望**することが可能
- 橋上では、**テイクアウト形式のワゴンショップ**が出店(8店舗)
- **橋上で飲食物を購入**し、鷗外橋やリバーウォークのイルミネーションを見物する人が多く存在

■ 勝山橋 賑わい創出状況



賑わいの創出状況①

○ 勝山橋からは、上流にある鷗外橋や左岸側にあるリバーウォークなどのイルミネーションを一望することが可能。



▲勝山橋橋詰付近から見たイルミネーション

賑わいの創出状況②

○ 勝山橋より、紫川に映るイルミネーションを楽しんでいた。



▲イルミネーションの見物者

賑わい創出状況③

○ 移動販売車では、焼鳥、ホットドッグ、から揚げ、ケバブ、コーヒーなどがテイクアウト形式で販売されており、**移動販売車で飲食物を購入し、勝山橋上でイルミネーションを楽しむ歩行者の姿**が多くみられた。

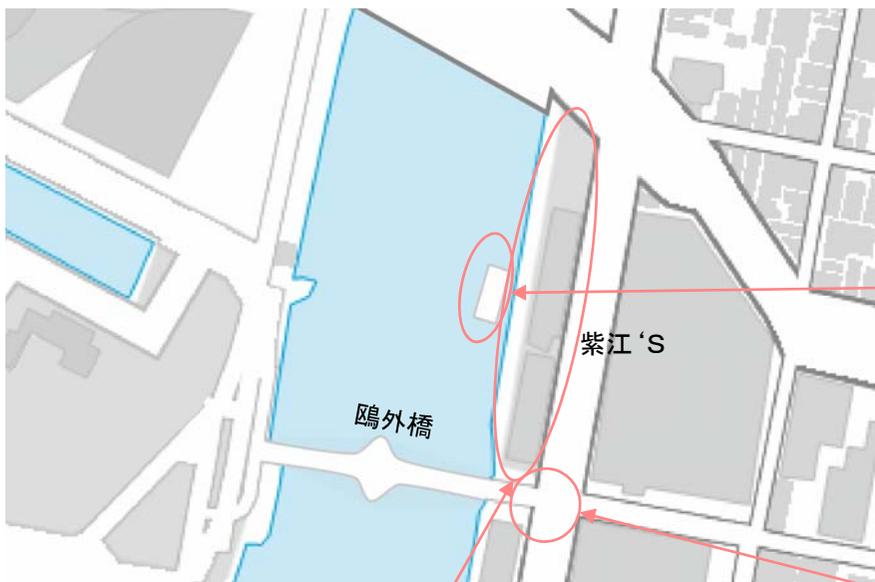


▲テイクアウト形式の移動販売

(3)事例紹介 小倉イルミネーション2014

- 紫江‘S周辺には、**立食形式で飲食ができるスペース**が出現
- 会社帰りの会社員などの多くの団体客が飲食をしながらイルミネーションを楽しむ姿が多数
- 音楽イベントが開催**され、賑わい空間としてイルミネーションとの相乗効果を発揮

■ 勝山橋周辺 賑わい創出状況



賑わいの創出状況②

水上ステージでは、ゴスペルグループによる**音楽イベントを開催**。ステージ前が**階段**になっており、**イベント時には観客席として活用**。



▲水上ステージの様子

賑わいの創出状況①

紫江‘Sのウッドテラス上や河川敷上にはテーブルを配置し、**立食形式で飲食が出来る**ようになっている(飲食物は持ち込み)。



▲ウッドテラス上の飲食客

賑わいの創出状況③

鷗外橋のイルミネーション見物者と井筒屋からの歩行者で滞留する鷗外橋の橋詰では、**照明の確保とスタッフによる見物客の誘導、道案内を実施**。



▲鷗外橋の橋詰

(4) 紫川にぎわいづくり実行委員会ヒアリング結果

(1) 紫川にぎわいづくり実行委員会の概要

【構成団体】

紫川マイタウンの会、リバーウォーク北九州、株式会社井筒屋、ホテルクラウンパレス小倉、西日本工業大学、北九州商工会議所、小倉中央商業連合会、北九州市、北九州まちづくり応援団株式会社

【事業内容】

紫川周辺地区の賑わいづくりのためのイベント事業

【委員人数】

23名(事務局、監事、オブザーバー含む)

【活動年度】

平成16～20年度(遊びにおいでよ紫川実行委員会)
平成21～25年度(紫川で、会いましょう。実行委員会)※名称変更
平成26年度～(紫川にぎわいづくり実行委員会)※名称変更

(2) イベント実施実績(平成25年度)

イベント名	開催日	利用者数等
紫川夜市2013	7月13日、14日	49,583人
わっしょい百万夏まつり	8月3日、4日	19店舗
第5回全日本紫川ダンボールレース2013	8月25日	雨天のため中止
紫川アート市2013	10月26日、27日	56,039人
小倉オープンカフェマンズ2013	10月1日～31日	—
紫川リバーサイドフェスタ2014	3月29日、30日	22,415人

(3) 紫川にぎわいづくり実行委員会の活動について

○産学官の連携について

【官民の役割分担】

- ・勝山公園内は道路区域ではなく、**公園区域として単独で指定**されている。
- ・河川占用の手続きは、北九州市が行っている。
- ・事務局としては、イベントの実施計画を北九州市と小倉北区役所に提出している。

【地域との連携】

- ・実行委員会の中には、井筒屋やリバーウォークなどの周辺商業施設も参画しており、**イベントを同時開催するなど、周辺施設と連携**することにより、相乗効果を図っている。
- ・西日本工業大学には、**学生の研究発表の場として活用**してもらうほか、イベントのアイデア出し、会場設営などにも協力してもらっている。
- ・イベント開催時には、一般のボランティアを募集することはない。

○賑わい空間の現状・要望・効果について

【現状】

- ・橋上は風が強いため、**太陽光ルーフを活用した風除けが大変役立っている**。
- ・冬の時期には利用者が落ち込む。
- ・橋上に飲食店等を出店させる場合は、短時間であれば移動販売車、週末2日間であれば屋台にするなどの使い分けを行っている。
- ・花火大会など多くの観客が予想される場合には、安全のため手すり付近を立ち入り禁止にしている。
- ・毎年ある程度決まった事業を実施しているので、**マンネリ化を防ぐため新しい試みを続けていく必要**がある。

【要望等】

- ・利用者に最も人気があったのは、レーザーショーと花火であった。
- ・オープンカフェも人気がある。

【効果】

- ・継続的な試みにより、**小倉の風物詩としてやっと定着**してきた感がある。
- ・普段は鷗外橋の通行量が多いが、**イベント時には勝山橋の通行量も増え、回遊性が高まっている**。